

小中一貫だより

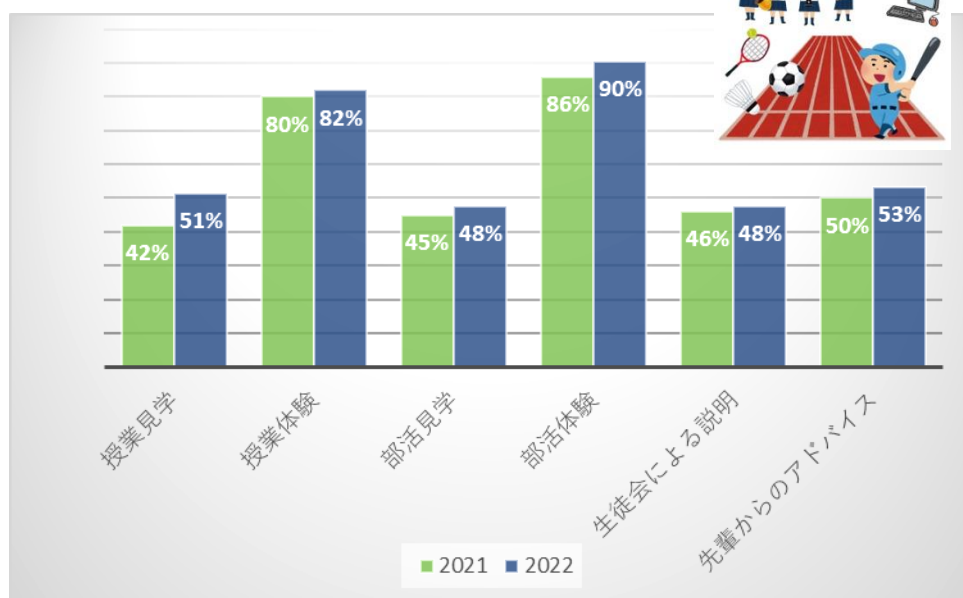
第4号
2023年(令和5年)
3月10日(金)

日高東中校区【府中小学校 八代小学校 日高小学校 静修小学校 日高東中学校】

やっぱり「体験」が一番！

日高東中校区の小中一貫教育の目玉である日高東中学校「授業・部活見学」と「授業・部活体験」を昨年の10月と11月に実施しました。参加した小学校6年生にアンケートを実施したので、その結果をお伝えします。

◆よかったと思うものは・・・



やっぱり一番好評だったのは、『授業体験』と『部活体験』でした。

見学した時には、あまりわからなかったけど、実際に授業を受けてみるととても楽しかった。

最初は難しいと思ったけど、小学校で習ったことを使うことが分かり、ホッとしました。

など、実際に中学校の先生の授業を受けてみることで、子ども達の安心につながっているようです。また、部活体験は毎年人気が高く、

体験することで、入部しようと思っていた部や入部を考えていなかった部などについても、しっかり考えることができてよかった。

先輩と仲良くできるか不安だったけど、いろいろと優しく教えてくれて、すぐに仲良くなれました。緊張感がなくなりました。

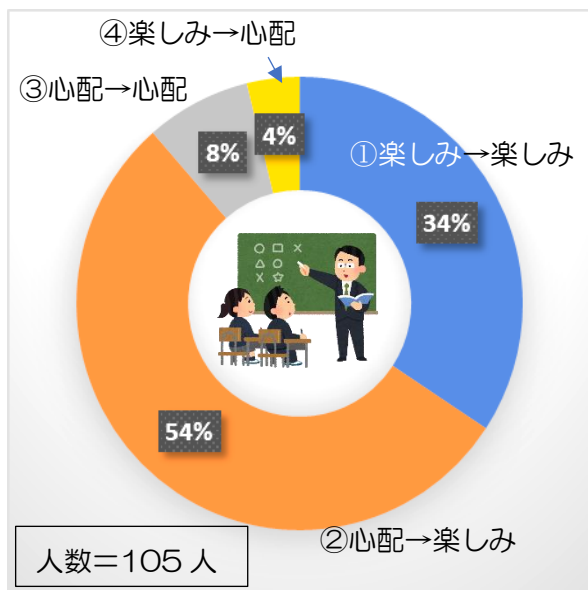


等、バッティングをさせてもらったり、竹刀の握り方を教えてもらったり、「こうしたら立体感が出る」と声をかけてもらったり・・・という先輩との「ふれあい」が不安を和らげ、期待を膨らませる大きな要因になっているようです。

昨年度から始めた『先輩からのアドバイス』も、子どもたちにとって大いに参考になっているようです。ご家庭でもこれをもとに家族の話題として取り上げ、中学校生活をイメージしながら、小学校のうちに準備できることについて話し合ってもらえると幸いです。



◆見学・体験を通しての変化は・・・



①姉から中学校の話を聞いていて前から楽しみだったけど、見学や体験を通してもっと楽しみになりました。

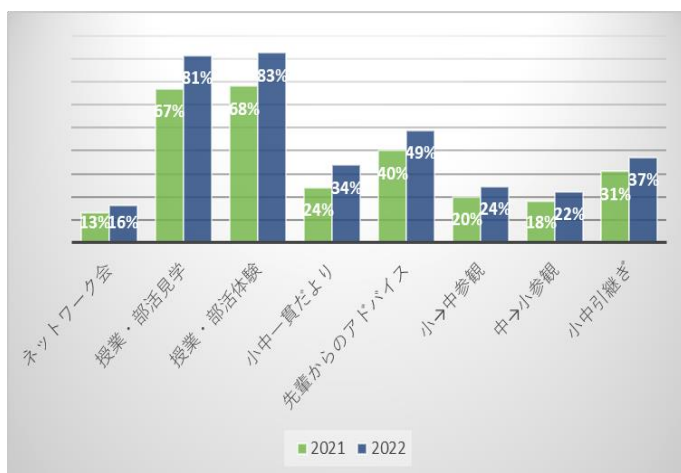
②生徒会の先輩による学校生活の説明がよくわかったし、先生たちも面白そうで安心しました。

③体験などをしてとても楽しかったけど、少しだけ、自分もルールを守るかだけが心配です。

④学校のきまりが多いことや、授業についていけるかどうか心配になりました。毎日の復習も少し心配です。

授業や部活の見学・体験をする前は、中学校生活が「心配だ」と答えていた児童が65人(61.9%)でしたが、体験後は12人(11.4%)に減りました。一方、「楽しみだ」と感じていた児童は40人(38.0%)から93人(88.5%)に増えました。体験後も「心配だ」と答えた児童の中には、小学校と比べて学校生活が変わること、授業時間が50分に増えること、勉強と合わせて部活があることなどの記述がありました。今後も小中一貫だより等で中学校生活についてや中学生の生の声を取り上げて、少しでも不安を取り除き、スムーズに中学校への橋渡しができるよう小中学校間の連携を深めていきたいと思います。

小中一貫校育・保護者アンケートより (令和4年12月実施)



小中一貫教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。『アプローチ&スタートカリキュラム』については、年々認知いただいている割合が増えており、今後も小学校と中学校を丁寧に繋ぐシステムとして、強化に努めていきたいと思っています。

取組の有効性についても97%の方から好評価いただきました。特に有効と感じている取組は、児童のアンケート結果と同様に『授業や部活動の見学や体験』で、昨年と比較しても、見学(6

7%→81%)体験(68%→83%)と8割の家庭で高い評価を得ています。また、『先輩からのアドバイス』は、「いろいろなアドバイスがあり、子ども達一人一人にとって、小学校と中学校の違いを感じる内容は、異なるんだなと思いました。」「大人がアドバイスするのではなく、子ども目線での意見なので伝わりやすいと思う。」等、『小中一貫だより』と合わせて、中学校進学に対する不安や心配を和らげる一助として今後も継続してほしいという意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。

こんなはずじゃあ、なかったこと。 😞

友だちのこと

○仲良かった友だちとクラスが別れてしまった。
 ⇒できるだけたくさんの人と友だちになろう。

授業のこと

○授業の進むスピードが思った以上に早い。
 ⇒小学校の時に毎日勉強する習慣をつけておこう。
 ○勉強が難しい。
 ⇒小学校の時から、分かるように復習しておいた方がいい。

